

努力賞

ぼくのもだちかぶとむし

尾久宮前小学校 一年 宮崎 信忠

やなぎだくにおせんせい、はじめまして。やなぎだせんせい、かぶとむしをかったことはありますか。ぼくが「かぶとくん」というえほんをよんでみたきうかけは、かぶとむしがだいすきだからです。

このほんをよんでいちばんおもしろかったのは、ようちゆうをそだているところなんです。ようちゆうがうんと、どんどんおおきくなってきてかっこのよくなってきたからです。ぼくも、おうちでかぶとむしのようちゆうをそだてました。ようちゆうでいるじかんがすくなくながかったので、かぶとむしになるかぶつかしんぱいでした。ほんのなかのようちゆうは、かぶとむしになるのがはやくい

おもいました。ほんのなかのかぶとくんは、くだものをたべていました。おいしそうでした。ぼくのかぶとむしは、ゼリーをたべています。こんど、ぼくもくだものをたべさせてみたいとおもいました。かぶとくんとぼくのかぶとむしは、おなじくよるがすきみたいです。ほんのなかにでてくるこんちゃん、かぶとくんとこうえんであそんだり、おふろにはいたり、いっしょにねたりしていて、いいなおもいました。でもこんちゃんはさうじに、かぶとくんをもちにかえます。それは、かぶとくんが

「ほんとうはもちにかえりたいんだ。きからあふれるしるをのみたいんだよ。」
といったからです。ぼくのかぶとむしも、もちにかえりたいとおもっているのかなとおもいました。だけどぼくは、こんちゃんみたいにく、かぶとむしをもちにかえすの

はいやです。かぶとむしが、しんぱいだからです。こんにちはは、すごいなとおもいました。やなぎだせんせいなら、どうしますか。でもぼくは、ぼくのかぶとむしをたいせつにそだてます。だって、ぼくもこんちゃんとおなじようにかぶとむしのがたがだいすきだからです。